

MSM を対象とした、HIV/STIs 即日検査相談の実施及び innovative な検査手法の開発

研究分担者	井戸田一朗 (しらかば診療所)
研究協力者	星野慎二 (特定非営利活動法人 SHIP)
	立川夏夫 (横浜市立市民病院 感染症内科)
	相楽裕子 (東京都保健医療公社豊島病院感染症内科)
	吉村幸浩 (横浜市立市民病院 感染症内科)
	渋江 寧 (横浜市立みなと赤十字病院)
	宮島真希子 (東京慈恵会医科大学附属病院 感染症科)
	李 広烈 (東京慈恵会医科大学附属病院 感染症科)
	沢田貴志 (港町診療所)
	佐野貴子 (神奈川県衛生研究所)
	近藤真規子 (神奈川県衛生研究所)

研究要旨

MSM (men who have sex with men)を限定とした HIV/STIs 即日検査相談を実施することにより、検査相談を受検した MSM の特徴と背景及び、HIV 感染率の推移を把握し、受検者の特徴と背景、HIV 感染率を明らかにすることで、神奈川県地域の MSM に対する HIV/STIs 予防対策の策定に有用な情報を得る事を目的とする。

昨年度に引続き、2019年4月から2020年1月まで計10回の即日検査を実施し、述べ124名の検査相談を実施した。陽性者数は、HIV抗体(確認検査で陽性確認)1名(0.8%)、梅毒TP抗体10名(8.1%)、HBs抗原0名(0.0%)であった。受検者の背景は、MSMが90.3%、神奈川県内居住者が63.7%を占め、最多年齢層は30-34歳21.8%であった。SHIPの検査相談を過去に受検したことがある受検者は54.2%であった。

また、当検査では検査日の1週間前からインターネットによる予約受付を行っているが、毎回、予約開始から2~3日で定員に達していることから、MSMに親しまれ、長期に利用されるサービス枠組みを有すると示唆された。

A.研究目的

厚生労働省エイズ発生動向における感染経路別割合では男性同性間の性的接触が約7割を占めているが、こうしたことが起こる背景としては、MSMの多くは自分が同性愛者であることを学校や職場の仲間、家族にも伝えることができず、自分自身のことを隠し偽り、“異性愛者”を装って生活している。そのことがストレスとなり、成人後のメンタルヘルスに大きく影響し、HIV感染リス

クの高い性交渉との関連が先行研究で指摘されている。

また、MSMの中には過去にHIV検査を受けたことがありながら感染してしまう人が少なくない。このように検査のリピーターが感染してしまう背景として、情報や知識だけでは行動変容に結びつかないことが考えられる。行動変容を起こしてもらうためには検査のときのカウンセリングを通じて自己の行動を振り返る作業が重要と考

えられる。

本研究では、横浜市内で MSM 向けコミュニティセンターの運営で実績のある特定非営利活動法人 SHIP の協力を得て、MSM 向けの自発的 HIV/STIs 即日検査相談（HIV 抗体、梅毒 TP 抗体、HBs 抗原）を実施し、その受検者の特徴と背景を明らかにし、HIV 感染率の推移を把握する。

B.研究方法

前年度に引き続き 4 月から横浜市内の公共施設を利用し、定員 15 名の即日検査を実施した。

検査日の 2 週間前からインターネットによる予約制とし、受検者同士が顔を合わせる機会を最小限にする配慮をした。検査前に下記の項目を含むアンケートを実施した。属性、肝炎ワクチン接種有無、HIV 検査受検歴の有無、心配な性的接触の内容等。インフォームド・コンセントを得た後、看護師等による検査前の相談と採血を実施。

その後、臨床検査技師等による検査を施行後、医師による結果告知と検査後相談を実施した。

HIV 抗体検査にはダイナスクリーン[®]HIV-1・2 を、梅毒検査にはダイナスクリーン[®]TP 抗体を、B 型肝炎検査にはダイナスクリーン[®]HBsAg を用いた。

ダイナスクリーン[®]HIV-1・2 が陽性だった場合は、Western Blot 法による確認検査を神奈川県衛生研究所にて追加して実施し、検査相談実施 1 週後に確認検査結果を医師が SHIP の事務所で受検者に告知した。

（倫理面への配慮）

MSM 限定の HIV/STIs 検査については、2012 年に慶應義塾大学医学部の倫理審査委員会で審査承認されている。

対象者には事前に本分担研究の目的と研究報告書等に記載することを説明後に実施した。また、本検査相談は無料匿名であり、さらに回答者自身のプライバシーへの配慮のため、アンケートの集計にあたっては、数値化することによ

り、個人を特定できないよう配慮している。

C.研究結果

前年度に引き続き 2019 年 4 月から 2020 年 1 月までに計 10 回の検査を実施した。10 回のうち予約人数は 150 名で、実際の受検者数は 124 名であった。（図 1）

① 月別検査予約数と受験者数の推移

予約はインターネット。過去に当施設で検査を受けた事がある人は 2 週間前から、それ以外の人は 1 週間前から開始しているが、毎回、予約開始から 1 日で予約が一杯になっている。予約システムは定員に達した時点で、受付を停止するため、予約できなかった人数をカウントすることができないが、検査を希望しなら予約できなかった人はいると思われる。

10 回の述べ予約数 150 名、実際の受験者数は 124 名で、そのうち ID カードの提示より当検査のリピーターと確認できた受検者は 58 名（46.8%）と年々増えており、2016 年度の 24.8% より 22.0% 増加している。（図 2）

② 受験者背景

受検者 124 名のうち、過去に HIV 検査を受けたことがある人は 107 名（86.3%）で、初めて検査を受けた人は 17 名（13.7%）であった。（図 3）

過去に HIV 検査を受けたことがある 107 名に前回の受検した施設を尋ねたところ 58 名（54.2%）が当検査で検査を受けた。

また、保健所で受けた人が 20 名（18.7%）、イベント検査 14 名（13.1%）、病院が 5 名（4.7%）、南新宿検査場が 5 名（4.7%）、であった。（図 4）年齢別の最多は 30-34 歳 27 名（21.8%）であり、第 2 位は 25-29 歳 21 名（16.9%）であった。（図 5）

居住地構成では、横浜市が 50 名（40.3%）と最多で、東京都 37 名（29.8%）、神奈川県域（横浜・川崎以外）が 21 名（16.9%）、川崎市 8 名（6.5%）、千葉 7 名（5.6%）、埼玉 1 名（0.8%）と、県外からの利用者が 36.3% を占めていた。（図 6）

受検動機は、性的接触による心配が 65 名

(52.4%)、念のためが 56 名 (45.2%)、症状が出たが 2 名 (1.6%)、その他 1 名 (0.8%) であった。(図 7)

③ 気になる性的接触について

気になる性的接触についてアンケート調査を行ったところ、初めての相手が 70 名 (56.5%)、いつもの相手が 35 名 (28.2%)、風俗が 2 名 (1.6%) であった。また、そのときのコンドームの使用状況では、オーラルセックスのときにコンドームを使わなかった 100 名 (80.6%)、アナルセックス (ウケ) のときにコンドームを使わなかった 19 名 (15.3%)、アナルセックス (タチ) のときにコンドームを使わなかった 32 名 (25.8%) であった。(図 8)

④ 当検査場を選んだ理由 (有効回答 118 名)

当検査場を選んだ理由の調査 (複数回答) では、「直ぐに結果が分かるから」101 名 (85.6%)、「梅毒・B 型肝炎も受けられるから」90 名 (76.3%)、「場所が近いから」47 名 (39.8%)、「ゲイ専用なので」46 名 (39.0%)、「曜日と時間帯が受けやすい」46 名 (39.0%) であった。(図 9)

⑤ 満足度調査 (有効回答 118 名)

事後アンケートで、「役に立つ知識が得られた」と答えた人は 106 名 (89.8%) で、「知人・友人にこの検査をすすめてほしいと思いますか」の質問で、「すすめる」70 名 (59.3%)、「話してみたい」28 名 (23.7%) であった。(図 10)

⑥ HIV/STIs 検査結果

陽性者数は、ダイナスクリーンによる HIV 抗体 (後に確認検査で陽性と確認) 1 名 (0.8%)、梅毒 TP 抗体 10 名 (8.1%)、HBs 抗原 0 名 (0.0%) であった。(図 1)

D. 考察

SHIP が提供する検査相談を過去に 2 回以上受けたことある人が全体の約 3 割を占めていた。また、事後アンケートにおいて、89.8% の受検者が

役に立つ情報が得られたと答え、83.0% が SHIP の検査を知人に「すすめてほしい」「話してみたい」と答えていることから、利用者の満足度は高く、MSM に親しまれ長期に利用されるサービス枠組みである可能性が示唆された。

その一方で、予約開始から 2~3 日で定員に達していることから、更なるニーズに応えるには定員の増加、または検査回数の増加が必要とされる。しかし、SHIP は専用の検査施設を持っていない。検査相談に用いる多岐に渡る物品と資材は、通常は SHIP の事務所で保管され、検査の度に少ない人的資源で、検査会場に運搬・移動・設置している現状では、検査回数を増やすことは難しい。そのため、上記を解決できる恒久的な検査施設を探すことが今後の課題とされる。また、パートナーや友人同士で受検する人が毎回 1 組~2 組いることから、いかにプライバシーを確保するかが今後の課題である。

E. 結論

2019 年 4 月から 2020 年 1 月まで計 10 回の即日検査を実施し、述べ 124 名の検査相談を実施した。陽性者数は、HIV 抗体 (確認検査で陽性確認) 1 名 (0.8%)、梅毒 TP 抗体 10 名 (8.1%)、HBs 抗原 0 名 (0.0%) であった。リピーターが占める割合は年々増加している。MSM 当事者の HIV/STIs に対するニーズに応えるには、恒久的な検査施設が必要である。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

なし

H. 知的所有権の出願・登録状況 (予定を含む)

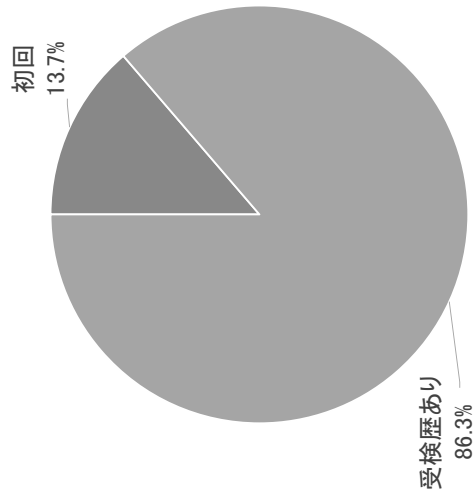
なし

図1 月別受験者数と検査結果

月	予約数 (人)	受験者数 (人)	リピーター (人)	HIV(+)	TPHA(+)	HBsAg(+)
4月	15	8	3	0	0	0
5月	15	11	3	0	1	0
6月	15	15	9	0	1	0
7月	15	14	4	0	1	0
8月	15	14	5	0	1	0
9月	15	13	8	0	2	0
10月	15	15	9	0	2	0
11月	15	9	3	0	0	0
12月	15	12	7	0	1	0
1月	15	13	7	1	1	0
合計	150	124	58 (46.8%)	1 (0.8%)	10 (8.1%)	0 (0.0%)

* 定員は各回15人。 * IDカードにより確認することができたリピーター数を示す。

図3 HIV受検歴



N=124

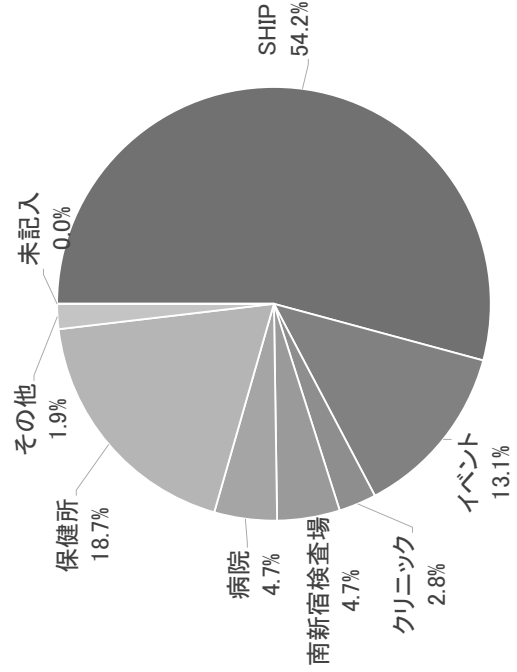
図2 リピーターの年次推移、月別推移

(1) リピーターの推移(2016年度～2019年度)

月	回数	予約数 (人)	受験者数 (人)	リピーター数 (人)	(%)
2016年度	12	183	153	38	(24.8%)
2017年度	10	159	144	54	(37.5%)
2018年度	11	165	135	59	(43.7%)
2019年度 (1月まで)	10	150	124	58	(46.8%)
計	43	657	556	209	(37.6%)

* IDカードにより確認することができたリピーター数を示す。

図4 前回の受検施設 (受験歴あり107人)



N=107

図5 年齢別構成

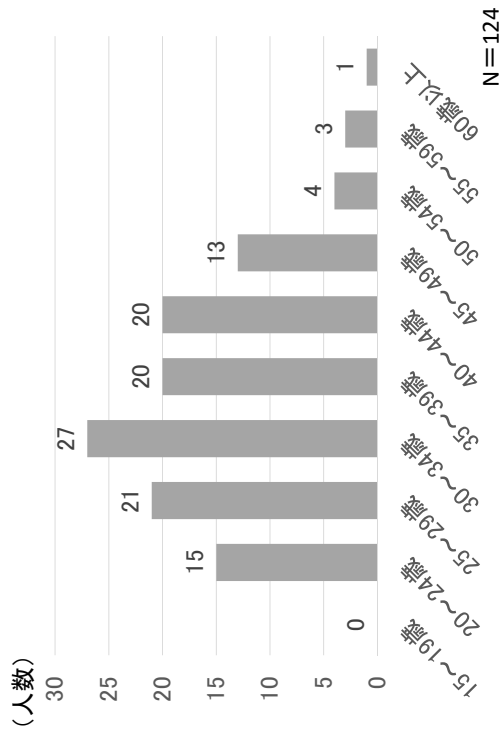


図6 居住地構成

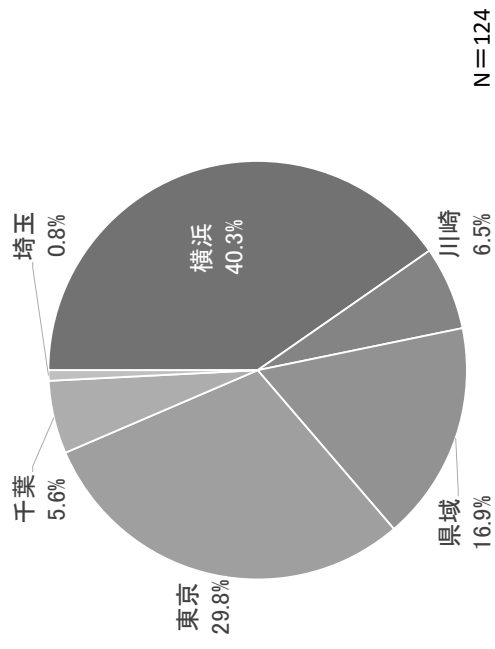


図7 MSM割合と受検動機

(1) MSM割合

	人数	(%)
MSM	112	90.3%
非MSM	2	1.6%
未記入	10	8.1%
計	124	100%

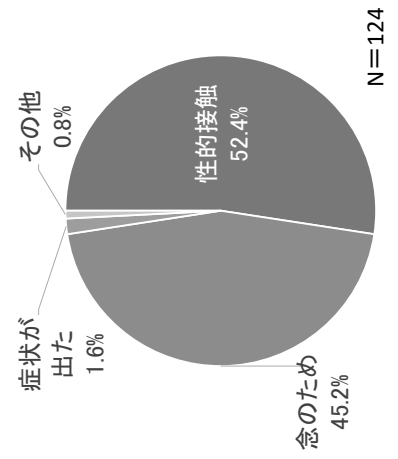


図8 気になる性的接触の相手との関係とコンドーム利用状況

(1) 気になる性的接触の相手との関係

いつもの相手	初めての相手	風俗業	未記入	合計
35 (28.2%)	70 (56.5%)	2 (1.6%)	17 (13.7%)	124 (100%)

(2) 気になる性的接触のコンドーム利用状況

	しなかった	使った	使わなかった	未記入	合計
オーラル	5 (4.0%)	4 (3.2%)	100 (80.6%)	15 (12.1%)	124 (100%)
アナル(ウケ)	59 (47.6%)	26 (21.0%)	19 (15.3%)	20 (16.1%)	124 (100%)
アナル(オチ)	40 (32.3%)	34 (27.4%)	32 (25.8%)	18 (14.5%)	124 (100%)

図9 当検査を選んだ理由（複数回答）

当検査場を選んだ理由 (事後アンケート回答者数 118人)

選んだ理由	人数	(%)
直ぐに結果が分かるから	101	85.6%
梅毒・B型肝炎も受けられる	90	76.3%
場所が近いから	47	39.8%
ゲイ専用なので	46	39.0%
曜日と時間帯が受けやすい	46	39.0%
前に受けたから	35	29.7%
他の検査場が分からない	1	0.8%
WEB予約ができるから	0	0.0%

図10 満足度調査

(1) 役に立つ知識を得られましたか？ (事後アンケート回答者数 118人)

項目	人数	(%)
得られた	106	89.8%
得られなかった	2	1.7%
(空白)	10	8.5%

(2) 知人・友達にこのSTD検査をすすめたいと思いますか？ (事後アンケート回答者数 118人)

項目	人数	(%)
すすめる	70	59.3%
話してみたい	28	23.7%
わからない	12	10.2%
話す気はない	2	1.7%
すでに受けている	5	4.2%
(空白)	1	0.8%